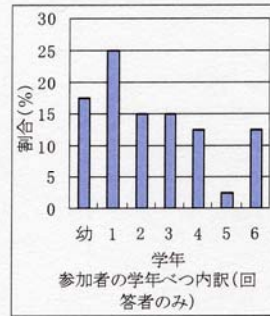
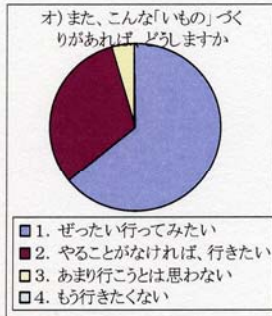
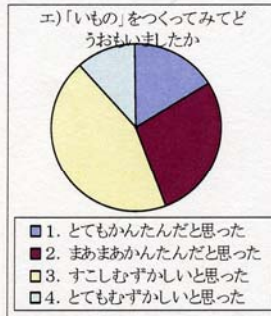
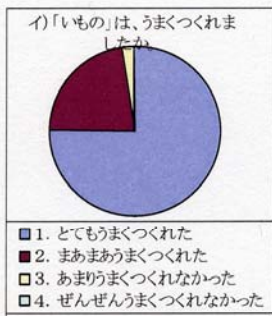
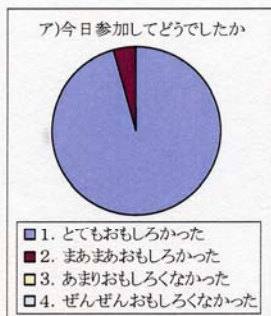


事業名	代表者所属	近畿大学工学部機械工学科
09KJ-22	代表者	教授 旗手 稔
こども鋳物教室 2009	開催地	広島県
	助成金額	10 万円
活動概要		
<p>日時：2009年11月8日</p> <p>場所：広島市交通科学館</p> <p>対象：小学生</p> <p>参加者：72(人)</p> <p>内訳(サポート役;20人)(生徒;52人)</p> <p>内容：鉛フリーの低融点金属を用いた鋳造を行い、ペーパーウェイトなどの小物を製作した。また、ものを作るだけでは学習要素が低いと、物づくりの前に鋳物学習講座を開催した。</p> <p>講演;2件、発表;0件、シンポジウム;0件</p>		



事業の目的・ねらい

本事業で開催した「こども鋳物教室」とは、学生の理系離れが問題になっている中、子どもの頃から”ものづくり”を体験することにより、物を作ることの面白さを知ってもらい、理系への興味を高める事を目的として日本鋳造工学会が主体となって開催する体験学習講座である。事業は日本鋳造工学会の各支部で行われ、今回の事業は中国四国支部が開催することも鋳物教室である。

事業の概要

こども鋳物教室は小学生を対象として、2009年11月8日(日)に広島市交通科学館で開催した。この教室では、低融点金属を用いた鋳造を行い、鋳型製作―溶解―注湯―型ばらし―仕上げの工程でペーパーウェイトやイニシャルウェイトなどの小物の製作を行った。小学生が作業を体験できることを中心に考え、鋳型製作と仕上げ作業を教えてもらいながら行い、高温が伴う溶解、注湯、型ばらしの各作業はサポート役の大人が担当した。鋳物づくりの学習要素を向上させる目的で、作業の開始前にはクイズ形式による「鋳物学習講座」を開催し、さらに広島市付近で見られる鋳物を紹介する資料を配付した。

成果・効果

参加人数が52名であり、多くの子供達に物づくりの楽しさを知ってもらうことができた。アンケート結果が示すように好評であった。